

平成29年 1月28日

NPO法人 都市災害に備える技術者の会
会員の皆様

NPO法人 都市災害に備える技術者の会
理事長 伊藤 東洋雄

発災後の活動に関するアンケートについての協力依頼

拝啓

平素より、当NPOの活動につきまして、多大なるご支援ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

平成29年の年が明け、はや一ヶ月が経とうとしています。この1月17日には、あの兵庫県南部地震の発生から22年の年月が経ちましたが、災害へ備えることの重要性は近年益々大きくなっていると感じます。

昨年4月に発生した熊本地震では、震度7を短期間のうちに2回記録するという今まで経験したことのないタイプの地震により、被災者は長期間にわたる避難生活を余儀なくされました。また、北海道では8月に3つの台風が立て続けに上陸し、甚大な被害が発生しました。このように、近年では自然活動に起因する激甚災害が頻発しています。そして、これらの災害において、発災後のボランティア活躍の重要性は、被災者支援や被災地の復旧・復興支援の面で広く認識されています。

一方、我々は、阪神・淡路大震災の被災・復興経験を元に、土木や建築の専門家としての見識を生かして、防災教育や講習会などの啓発活動を柱に、「災害への備え」「被害を最小限に抑える」ための地道な活動を13年に亘って継続してきました。このような草の根活動の成果のひとつとして、新たなメンバーも多く加わり、活動領域も徐々に拡大しつつあるなど、活動の活性化が進んでいます。

以上の背景から、当NPOでは、自然災害の発生後に被災地や後方支援地に赴いて、能動的にボランティア活動を行うことについて、昨年4月より議論を進めてまいりました。具体的などのような活動ができるかは未だ議論・研究途上ですが、まずは、会員の方々の専門領域と発災後ボランティアに関するご意見を集約した上で、データベース化し、今後の活動の準備を始めたいと考えております。

会員の皆様方には、上記の趣旨をご理解いただき、本アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

アンケート用紙はMSエクセルできており、5分～10分程度で回答していただくことのできる簡単なものです。集計データについては、当NPO内で利用させて頂き、外部への公表は致しません。

ご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

※不明な点など問い合わせ及び返信は事務局(太田ジオリサーチ 太田)までお願いします。

T e l : 0 7 8 - 9 0 7 - 3 1 2 0 F a x : 0 7 8 - 9 0 7 - 3 1 2 3

e-mail: office@toshisaigai.net

平成29年1月

NPO法人 都市災害に備える技術者の会
 会員データベース作成のためのアンケート用紙

発災後のボランティア活動の可能性に関する項目を含む

項目		記入欄		
基本項目 (可能な範囲 で記載)	氏名	漢字等 ふりかな	手入力 手入力	
	生年	選択	プルダウンから選択	
	性別	選択	プルダウンから選択	
	居住もしくは勤務地 NPO入会年	区市町村まで 選択	手入力 プルダウンから選択	
個人 特性項目 (任意で記載)	連絡先	TEL Email	手入力 手入力	
	職業、所属等	選択 その他、自由記載 具体的名称等	プルダウンから選択 手入力 手入力	
		役職	手入力	
		関連所属団体、NPO	手入力	
		専門/得意分野	選択 自由記載	プルダウンから選択 手入力 手入力
	主な資格	国家資格 選択1 選択2 選択3 その他資格、技術士部門など記載	プルダウンから選択 プルダウンから選択 プルダウンから選択	
		その他、講習、検定等	手入力	
		特記事項	手入力	
	発災後のボラ ンティア活動 関連項目 (任意で記載)	当NPOでの活動に 対する意見	選択 自由記載	プルダウンから選択 手入力
		これまでの 関連活動経験	選択 自由記載	プルダウンから選択 手入力
実施能力や経験 のある活動			自由記載	手入力
活動参加への可能性		選択 自由記載	プルダウンから選択 手入力	
		メーリングリスト登録	選択	プルダウンから選択
自由意見		自由記載	手入力	